

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

建学の精神と各科が掲げる教育研究上の目的に向け、所定の単位を修得し、求められる知識・技能・態度を身につけた者に学位を授与します。

日本語日本文学科

所定の単位を修得し、ライフデザイン力として、主体的に学び続ける姿勢を身に付けることをめざします。また、次の内容を満たすことも求めます。

- ① 科の教育理念「自主独行」に従い、自らの目的に応じた科目選択・単位修得ができていること。
- ② 日本語や日本文学、日本文化の基礎がどれほど身につけられたかは卒業研究で判断される。この研究を作成する過程で、情報を収集する力、情報を考察する力、論理を構成する力、文章をまとめ、発表する力を身につけていること。
- ③ 授業や行事を通じて、判断する力、協働する力、企画する力などを育成していること。

保育科

保育者としての実践力を修得し、子ども観・保育観を身につけ、子どもと一緒に生活を考え続けることができ、社会の一員として協働し、貢献できる知性と教養を修得できた者に学位を授与します。

- ① 保育者としての関心、意欲、熱意を身につけている。
- ② 保育及び家庭支援に関する専門的知識と実践力を身につけている。
- ③ 保育にふさわしい環境を理解し、子どもと一緒に生活を作り上げる実践力を身につけている。
- ④ 知性と教養を修得し、社会の一員として、また保育者として貢献できる力を身につけている。

音楽科

音楽に親しむ者としての知識・能力を身につけ、それらを活用して自らの表現を探究するとともに、その過程で生じる様々な課題を解決できる力を身につけた者に卒業を認め、学位を授与します。

- ① 音楽の基本的な知識を理解・身につけている。
- ② 演奏・創作技術を身につけている。
- ③ 様々な知識を総合的に活用して、自らの表現を探究できる。
- ④ 自身の課題を的確に把握して研究方法などを考え、あるいは助言を求めるなど、問題を解決するために適切に判断できる。

ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）

専攻科音楽専攻

音楽科としての作曲と演奏技術や専門知識を習得し、発表の準備を自らの力で進めるための主体的に学び考える力、そのマネジメント力、さらに共演者や社会とわるコミュニケーション力を培うことができた者に、修了を認める。

- ① 自らの創意工夫による豊かな表現のため、確かな作曲と演奏技術を身につける。
- ② 自らの創意工夫による豊かな表現が裏打ちされたものとなるよう、確かな知識を身につける。
- ③ 作曲と演奏に必要な作品研究と練習活動を、自ら考え実行できる判断力、自律性を身につける。
- ④ 自らの考えを他人に的確に伝え、また、他人の考えを聞いて意見交換できるコミュニケーション能力を身につける。